一夕日刊
# 磐城時報
福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘藏
印刷人　岡田弘藏
印刷所　石城郡平町紺屋町十四
印刷所　石城郡平町紺屋町十五
發行所　磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊（大祭日）休刊

## 學校と火葬場の新築委員決る

平町に於ける明年度の大事業平第三小學校新築、第一、第二兩校增築、平町營火葬場新設の三大事業は平町會に於てその豫算も原案通り通過したので昨二十九日の町會で伏見町長指名で左の如く委員をあげたが、平第三小學校新築は差し當り十四萬三千圓の起債並に工事施行の認可を申請する筈。火葬場は待合室竈等の設計變更の必要もあり、設計が出來次第着工の豫定である。第一、第二兩校の各六學級宛の增築は町役場吏員が設計をなし來る四月から直ちに着工する筈である。各委員左の如くである。

▲第三校新築委員　青沼鋒太郎、柏原眞吾、井上茂作、佐藤芳松、荒川淺次郎、松崎菊三郎、佐藤岩次郎、遠藤林松、永山義太郎、佐々木龍若、吉田定太郎

▲第一、第二校增築委員　星野清吉、大森勇、阿部太平、萩原義雄、諸橋國松、丹野榮三郎、阿部政右衛門

▲火葬場新築委員　加納五郎、岩本重雄、櫻井清、大谷久藏、野崎滿藏

## ▲課稅率修正

平町會は昨報の如く二十九日午後一時開會縣稅營業稅雜種稅附加稅不均一課稅月稅を納むる營業稅一圓につき七十八錢四厘を、町稅賦課率は縣稅營業稅附加稅本稅月稅百分の七十八・四を明年度から徵收する方針であつた處之を修正し前者は七十六錢に、後者は七十六錢と修正した、又平町營火葬場使用條例甲種六圓を五圓に乙種四圓を三圓に修正した

## 石城郡の地租納入額

五百圓以上四人

平稅務署調査による本年一月一日現在の地租納額調べによれば五百圓以上の多額納稅者は僅か四名で二百圓以上二十七名、百圓以上七十五名、五十圓以上二百八十三名、三十圓以上七百七十六名に上り、一番多いのは二十錢未滿の六千四百四十五名、一圓以上の三千六百六名、二十錢以上の三千百四十八名、五十錢以上の三千百十九名等で、高額の割合に多いのは二十圓以上の千三百四十八名、十五圓以上の千百四十六名である、尚ほ郡內の納稅者は三萬八千百七十四名である。

## 湯本町長

後任者協議

湯本町では二十八日午前十時から役場內で町會議員の協議會を開き後任町長推薦につき懇談し植田町から赤津亦太郎氏推薦說等出たが纏らず散會、更に近く協議會を開く筈である。

## 石城全郡に亘り炭礦災害防止の宣傳

講師は何れも專門技術者

常磐地方炭礦界に於ける災害防止研究機關の創設に就ては先年來一般識者によつて盛んに唱導せられ昨年磐城炭礦等に於ける事故頻發後に在つては一層その必要を痛感されながら今に何等の具体的成案を見るに至らなかつたが此儘に推移する時は將來未然に防止し得べき災害を繰返すが如き場合なきを保し難いといふので今回日本鑛山協會の手により左記日割を以て災害防止及び衛生設備の改善に關し講演會を開催し一般從業員の注意を喚起する事になつたが、講師は仙臺鑛山監督局技師松井蔚、間塚谷勇次郎、石丸省三、三井鑛山館湯本鑛業所長、好間古河鑛業所長下野十朗の諸氏三日午後零時より好間小學校に於て（小田第二、隅田川、福島、川瀨、品川、赤井、小田）四日同時刻內鄕村宮小學校にて（磐城、宮、越賀、浪華、不動澤、朝鮮、磐崎、八千代三友、東島）十日同入山小學校にて（入山三井、小野田）十一日勿來炭礦倶樂部にて（勿來、王城、東海、廣瀨、太平、富士、法田、喜久田）

## 比佐代議士當選祝賀會

民政黨比佐昌平氏當選祝賀會は一日午後一時から平町平劇場に開き有志の祝辭、比佐氏の挨拶等あり盛會であつた。

## 總選擧の結果石城の米價漸落

米穀商は買ひ澁る

農業倉庫利用を宣傳

石城郡地方の米價は政戰前までは磐城四等米二十三圓七八十錢を上下してゐたが、總選擧の結果朝野の勢力相半ばするの政情を示したゝめ株式の變動と共に米穀界にも多少の變動を及ぼし地方米では二三十錢方の下落を示し二十三圓五六十錢どころを見せてゐるが、地方米穀商方面の觀測では尚ほこの低落步調は續くものと見て買ひ澁りの狀態にあり景氣も從て引立たぬため昨今縣穀物檢査所平支所管內の產米出廻は極めて少なく農家方面でも時節柄中農處では手離なさねばならぬ場合にあり乍ら持米の動きなく農家の在米は相會では縣農務課の後援を得て十四日、十五日の兩日錦村小學校に於て養鷄講演會を開く筈で講師は日本家禽協會研究所長高橋廣治氏である。

## 金庫破りの有力な嫌疑者

二十九日平署に捕はる

去月十五日夜內鄕村大字白水浪花炭礦會社事務所の金庫を開き現金一千八百余圓を竊取した事件は當時詳報の通りであるが、平署では犯人嚴探中の處、犯行は外部から侵入の模樣なく內部の事情に精通してゐる者の仕業らしく、探査の結果有力なる嫌疑者として同社事務員新田義秋（四四）を引致し取調中であるが眞犯人らしく各方面に派してゐた刑事連は廿九日署に引あげた

## ▲養鷄講習會

石城郡農當豐富と見られ穀物檢査所では相場の引締るまで農業倉庫の利用を宣傳してゐる。

## 次の日曜頃梅見の盛り

選擧がすんで世は常春の平和に立ち歸り、石城地方は昨今長閑な春風が吹き初め、遠近の梅は二三輪の綻びを見せてゐる。松ヶ岡公園も既に六分の咲き方でこの次の日曜頃は見頃で相當の賑はひを見るであらうと。

## 木村氏當選祝

植田と江名町で

菊田方部の政友會同志は今一日午後一時植田町菊田座に於て新代議士木村清治氏の當選祝賀會を開催するが、尚ほ江名町に於ても來る五日頃同樣祝賀會を開催する豫定であると。

## 平消防組の表彰方申請

平消防組は一月十二日午前一時十分烈風中に平町十五丁目山崎喜一郎方から發火した際組員共同一致必死の力をつくして三棟七戶を燒失せしめたのみで鎭火せしめた功偉大なので平警察署では縣に金馬簾允許方申請した

## 磐城炭礦災害一週年

休んで法要

內鄕村磐城炭礦では昨年三月二十七日坑內火災が起り百三十四名の從業員が慘死したが來る二十七日はその一週忌に當るので當日全山休業し一週忌法要を營む筈である。遭難者の遺族は御下賜金、慰藉料、同情金等で鄕里に歸つたものもあるが、一週忌を迎へて今更新らしい悲しみの涙に咽んでゐる。

## 中野吳服店福引賣出し

平町三丁目中野吳服店では三月一日から七日まで福引大賣出しを開く筈で一等十割戻し、二等五割戻し、以下五等五分戻しの大奮發、買上二圓以上に福引券を添ゐる由である。尚松竹スター好みのクレーヤーモスを陳列してゐるので好評を博してゐる

## 明年度豫算に對する私見（四）

福島新聞平支局　渡邊文

郡山市の條例によれば市長管理に屬する道路を占用するものに對しては左の規定により料金を徵收するとある、それは電柱は本柱、支柱、支線いづれも一本につき年額三圓、瓦斯管、鐵管、コンクリート管、電力ケーブル等の地下埋沒物及橋梁架設物に對しては延長一間の年額直徑五吋未滿二錢、十吋未滿四錢、十吋以上八錢、木管はこの倍額、更に軌道敷設一間または一坪の年額一圓、廣告標織陳別棚又はこれと類似のものは一間又は一箇所の年額二圓四十錢を徵收してゐる、若し平町にして郡山同樣の規程によつて道路占用料を徵收するならば少くとも年額三千圓の新財源を產み出すことは火を見るよりも明かである、この外更に財源を得ようと思へば稅金の賦課率などを上げづともいくらもあることにお氣付きが願ひたい、これは單に筆者一人の願望ではあるまい、平町に在住する誰もが望むところであらう。伏見町長に緊褌一考慮を願つて置く。

▲附記　更に歲出方面で商業學校費、歲入方面で町債等につき記述する豫定であつたが委員會に於てすでに四百五十圓を減額して本會議を通過した今日記述するも無駄と思はれるから今後改めて書くことを約して擱筆する。

## 農村智識の向上をはかる

石城郡水産會ではこの程小名濱町水産試驗場内に總會を開き三年度豫算千七百一圓を議決したが新事業として縣や水産試驗場の豫算編成前に石城七濱當業者の水産協議會を開き縣や試驗場に對し水産業開發上必要な施設に對し陳情要求することゝなりまた漁村知識の向上をはかるため活動寫眞の巡回映寫を行ふことに決した。

## 小學生自動車に轢かる

二十九日午前八時頃好間村大字北好間字椎木平居住小田炭礦車夫佐々木善次郎二男久吉（一〇）が學校に行く途中好間軌道會社運轉手好間村字中好間本田義直（二五）の操縱する乘合自動車の泥よけに跳ね飛ばされ左大腿部を骨折し平町桑原接骨院に入院したが全治一ヶ月、生命には別條がないと。

### 映畫界

▼彌次喜多珍道中の巻

彌次と喜多と團六が安田と染香を救つた時、團六は重傷を負ひましたが蘭齋伯齋の名藥は不思議にも團六の体を元の様にしました、彌次と喜多とは伯齋から韋駄天丸と休息丸とを山嵐の義俠で買受ける事が出來ました、喜多の性急と彌次の鈍性とはこの藥で調和が取れた譯です。

安田が愛人の許にゐる事を知つた同志松田、杉村、磯島、前原等は安田に凡ゆる嘲笑を與へました時、安田は突如染香の家を飛び出しました、染香は安田の身の危險を直感して喜多と彌次に救を求めました、漸く尊王の何たるかを意識した二人は韋駄天走りを續けました、安田は暴して單身新撰組屯所へ斬り込みました併し近藤、土方等數十名の隊士に圍まれた安田は危地に陷りました。その時屯所に火災が起りました、杉村、松田の志士に加はつた山嵐は野猪の儘に暴れました、彌次も喜多も大奮戰の果全くへたばりました。土方の及に斃れた染香は頻死の唇から「三ツ葉葵を血で枯らす……」と口すさみつゝ、瞑目しました、骸を抱く近藤勇の眼にも淚が浮んだのです。慶應三年十二月王政復古の大號令が喚發された時、京には七百年來の曙光がさしました、が幕軍との決戰が近づきました德の家には「國家的夫婦喧嘩」が起り喜多は戰爭の瓦版を持つて市中を躍り廻つてゐました。かくて戰爭に昂奮した二人は染香の位牌を抱いて甲斐々々しく出征しました。（平館）


昭和三年度　春の裝ひ！
新柄が豊富に取揃へました　是非御覽下さい
新模様銘仙　館京御召　陳小紋錦紗　列帶　側
平町　二井吳服店　電三八。七五一

大和田醫院　耳鼻咽喉科　平町南町　電話一七〇番

原澤醫院　平町土橋通り　電話三一番

外科專門　入院隨意　上田外科醫院　南町電一二九

内科・外科・耳鼻咽喉科・花柳病科　高久病院　院長高久忠　平町電話一三五

簡易の金融　堅實と誠意　趣味の貯蓄　榮共存共榮　大藏大臣許可　本社植田町・支社平町中町　磐城無盡商會　【電話一番・平七六九番】　縣内到る處に取扱所あり何時でも申込下さい絶えず會員を募ります

印刷物は加納活版所

福引大賣出し　三月一日より七日間　御買上金貳圓以上に福引券一枚進呈　一等十割戻し　二等五割戻し　三等二割戻し　四等一割戻し　五等五分戻し　松竹スター好み……防虫加工クレーヤーモス着尺　亀陳列場に現はる　弊店は東京大デパートを始め他店の魁として一歩早く御覽に入るゝ事の出來たのは御得意樣の御蔭と感謝致す　平町三丁目　電話六十七番　有野吳服店

超特別大興行　マキノプロダクション特作　松尾文人主演　街上スケッチ　活動狂時代　六巻　あはれな呪ひをあげて黄昏の町を家路に辿る孤兒の影はものかなし……　マキノプロダクション特作　嵐長三郎主演　時代劇　百萬兩秘聞　第一篇　十巻　風死、月落ち一鳥啼かぬ幽靈野深夜古墳を發く若侍……謎ゾたゝ白刃閃く……　帝キネ特作　尾上紋十郎主演　時代劇　梁川庄八　十五巻　奥州仙臺脱藩牢破り庄八が豪傑譚り、前後篇同時上映　三月三日ヨリ　帝キネ　マキノ　有聲座

耳鼻咽喉科專門　平町仲田町七一　新築移轉　場所　合津醫院　電話五五九番

肺結核、肺尖加答兒、肋膜炎の優秀藥が始めて出來ました　特効　新案　スパー鉄　十一日分七圓　卅三日分廿圓　幾多の實驗者が立證せる効果は　一、熱は日に增し下る　一、咳嗽及喀痰がかくなるか又は少くなる　一、盜汗が全くなくなるか又は少くなる　一、食慾が增進する　一、倦怠がなくなる　一、呼吸困難が樂になる　一、安眠が出來る　一、肋膜炎は水が取れる　縣下代理店　平町五丁目角　山野邊藥局

牛豚肉特價提供　牛肉中百匁金三十錢　上肉同金五十錢　ロース同金七十錢　ヒレ同金九十錢　豚肉中百匁金三十錢　ロース同金六十錢　食肉の王　廉賣　深谷牛肉店　平町停車場前（平劇場入口）　電話五二四番

印刷工見習　五名至急募集　十四五歳迄の者……希望者來談あれ　平町仲町　電話七三四番　一二葉印刷所

超特別大興行　昭和三年度大日活代表的大傑作　彌次喜多珍道中の巻　原彌次田作　安藤喜多の脚色　池田憤の刀…染　富保圓の香…死　五郎丸の喧嘩　大河内休息の…　傳次郎の効め出征　主演　部重國…家的夫婦　河原崎長十郎…傷の多　三月二日ヨリ　お好み映畫　故尾上松之助が心血を注ぎ完成せる大衆幕末史　大連續劇　燃ゆる渦巻　日活幹部俳優總動員　關西派超特大作大映畫　松竹蒲田帝王篇　原作菊地寛（婦女界連載）　諏訪十九、奈良眞養、松井千枝子、瀧田靜子、筑波雪子、鈴木傳明　受難華姉妹篇　新珠（にひたま）　現代映畫の帝王大松竹が他社の絶對追從を許さゞる内容に完成せる本映畫　入場料　一等大四〇、小一〇〇　二等大五〇、小二〇〇　特等大六〇、小三〇〇　日活松竹高級常設　七曜日曜日學生デー　平館　電四六六